東海大学同窓会
TOKAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

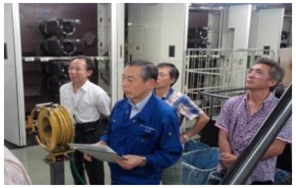
27 年度　代々木会の活動・報告書

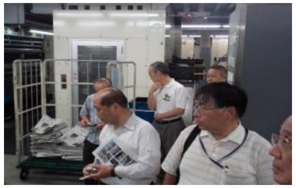
東海大学代々木会会報　第1号
発行日　2105年8月25日
発行責任者　増澤康雄

◆◇ ◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

第61回東京ブロック北部支部・年間行事の一つとして計画しておりました読売新聞木場工場の見学が8月22日（土）午後1時～午後4時の間、当工場を見学する会が行われました。今回の参加者は他支部からの見学希望もあり,お陰様で17名の方の参加となりました。全員が3階会議室にて山崎武副工場長から工場全体の概要説明と本日の夕刊紙の印刷スタート時間に合わせまして現場に入りました。現場に入りますと第一歩はフイルムを使わないで直接アルミ版にデータを記録するシステム、それは過去の製版に使われていた半月型のインゴットからは想像もつかない0．3mmのフイルムでありました。

そこから印刷へと進む工程にはまさしく最新鋭機が投入され高速で出てくる新聞に目を見張るものがあり参加者全員から“すごい”素晴らしい“と言う声が上がっておりました。最終工程は新聞が出来上がり後、配布地区別、販売店別、梱包数量別と自動的に梱包からトラックへ積み込むまでの一貫流れ作業です。この現場においても自動作業工程に驚きを隠しえませんでした。新聞が出来るまでには多くの工程がありますが木場工場では1時間に最大18万部の印刷が可能であると言う事実にも認識でき新聞制作に対する考え方を見直す絶好の機会となりました。





≪本日の勉強したまめ知識≫

◆新聞を印刷する巻取紙とは！

大型20トンクラスのトラックで運ばれています巻取紙直径1m22cm、幅1m60cm。1本で40ページ新聞が6000部印刷されます。読売新聞では1日に全国で朝夕刊合わせて1800本使用されているとの事。伸ばしますと2万8000km。地球を7／10周するそうです。

◆文字数20万字とは！

１日の朝夕刊合わせて約20万字の記事が掲載。400字詰の原稿用紙で実に約500枚に相当します。しっかり勉強できますね。

◆時速50kmのスピードとは！

輪転機は巻取紙から新聞をたたむ折り機まで、最長65mの距離を時速50kmのスピードで印刷します。この高速輪転機で毎時8万5000部の新聞を綺麗に印刷することで巻取紙1本を18分で刷りあげます。

※まだまだ沢山の知識を得る事が出来ました.次回の行事の際に報告書をさせてください。楽しみにお待ちください。

大學
東海大学同窓会
東京・北部支部

後方の建物が読売新聞木場工場

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

→　→工場の見学後→　→　→

江戸の三大祭りのひとつであります豊岡八幡宮に参拝、（門前仲町駅）　日本最大の神輿（4，5トン）が祭られていました。

此処には歴代相撲横綱名が挙げられております。新横綱の奉納土俵入りはこの場所でされます。

→　深川不動尊でもお参り。何と皆様の信心深い心を知りました。生涯、善き行い事をして生きて行きたいものです。

→　熱い，暑いバテ気味な状態で懇親会場へ集合。→　参加者と今後の同窓会発展の為に乾杯を挙げて大いに輪を広げました。

※北部支部会員は更に熱い情熱を持って進めて行きましょう。本日は他支部の方々から大変ご協力とご支援を戴きまして盛り上げることが出来ました。感謝いたしております。ありがとうございました。

編集　増澤康雄